

# 井上町長 町政一期目の所信表明

## 人々が織りなす元気で快適な活力あるまち

6月議会において、井上町長から一期目に対しての「所信表明」が行われましたので、概要をお知らせします。



先に同時選挙におきまして、旧町域を越えた多くの町民の皆様温かいご支援とご支持を賜り、不肖私が当選という栄誉を与えていただきましたことは、誠に光栄の極みでありますとともに、私に課せられた町民の皆さまの負託と責務の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

今回の合併は、地方分権時代に対応する自治体再編を目指すものときれながらも、国・地方ともに極めて厳しい財政環境の中で、しかも社会経済

構造が安定成長期に入っている時期での合併でありましただけに、昭和の大合併とは条件も大きく異なっていたところであります。

私も、合併の責任の一端を担った者として、これまでの経過と現状を見極めながら、原点に立ち返り近隣市町との連携ということを念頭に置いて、新町の町政執行に当たってまいりたいと存じます。

また、当面する課題を一つひとつ解決しながら合併効果が確実に現れ、町民の皆さんが合併して良かったと思えるようなまちづくりが行えるよう、全力を傾注してまいりる覚悟であります。

わが国の経済につきましても、最近ようやく民需主導による回復の兆しが見られるようになってきております。しかし、原油の高騰や金融機関の債務超過にもなう相次ぐ経営統合など、企業にとつては不安要素も多く残されている

ため、先行きは楽観視できないとされております。

本町の経済におきましても過疎・高齢化が急速に進展している中で、行政需要は年々増加の傾向を示しており、行政改革など行政自ら解決しなければならぬ緊急な課題も山積してあります。

このような状況下にあるだけに、社会資本整備をはじめ産業振興、福祉、教育、環境問題など、町民の皆さんの日常生活に直接影響を与える分野の推進も重要であります。健全な財政運営ということも基本として、効率的かつ重点的な施策を展開していく必要があると考えております。

3町合併の集大成である「さつま町新町建設計画」は、新町の将来像を「人々が織りなす元気で快適な活力あるまち」として定め、分野別に6項目の目標が掲げられております。

この新町建設計画は、今後

の町政を推進するための指針となるものであります。今年度策定いたします総合振興計画に、具体的な方向性や推進方策を位置付けるとともに、地域審議会並びに振興計画審議会等のご意見等も可能な範囲で活かしながら、財政的な裏付けを行い町民総意の計画となるよう配慮し、さつま町が合併のモデルとなるような公平感と一体感のあるまちづくりを進めてまいります。



第1回地域審議会（3地域合同）

### 第1 「豊かな地域資源を核とした活力あふれる産業のまち」

本町は豊かな自然環境を背景として、長年にわたり農業を基幹産業としながら今日

に至っておりますが、当地域の主要作物である米を中心に近年ではハウス園芸や畜産・茶・果樹生産など幅広い分野における取り組みが展開されてきており、意欲ある農家の皆さんの努力によって生産形態も変化してきております。

これからの農業は、食の安心、安全ということがキーワードになるとされておりますが、従来のような生産者側の増産と収益性を重視した農業から消費者の食へのニーズを中心とした農業へ転換されてきており、今や国内外を問わず農業のあり方そのものを見直す時期に差しかかっております。

このような農産物を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、環境保全型農業基盤の整備はもちろんのこと、農産物のブランド化や流通体系の確立、更に市場開拓が必要不可欠であると存じますので、生産者や関係機関と一体となって、特産品のPRを含め自ら先頭に立ちトップセールスを行うてまいりたいと考えております。

重要なことは、本町に残されているあるがままの自然と